

まちの話題

上差尾で健康教室



若光会による劇

12月7日、上差尾地区交流館で地域住民を対象にした「健康教室」が開催されました。参加者は30名。はじめに、当地区の健診受診率の低さを心配し、地元青年グループ「若光会」のメンバーが考えた劇「自分の健康は誰のため？」が披露され、

緑仙館でもちつき



毎年の住民健診の重要性を訴えました。その後、健康福祉課山下タツヨ保健師の健康講話もあり、3月開催予定の追加健診で、未受診者は必ず受診するように、地域を挙げて気運を盛り上げることが大切であると話しました。

12月11日、グループホーム緑仙館で毎年恒例「緑仙館餅つき忘年会」が行われました。これは、緑仙館利用者とその家族はもちろん、地域の方も一緒に、行われているもので、利用者の中には片で力いっばいお餅をつく方、エプロン姿でお餅を次々と丸めていく方などたくさん笑顔であふれていました。

午後からは清和地区でボランティア活動をしている「さつき会」による出し物も披露され、歌やおどろきたてのお餅も楽しみながら、参加者には思い出深い一日となりました。

木のおもちや贈呈



島木へき地保育所



子育て支援センター

上益城地域木材需要拡大推進協議会（外本英治会長）が、クリスマスプレゼントとして、郡内の保育園・幼稚園に木製のおもちゃを送りました。これは、木に親しむ機会を増やしてもら

おうと平成18年から行われているものです。今回は、島木へき地保育所、御所へき地保育所、子育て支援センターに積み木やパズルなどのおもちゃセットが送られました。贈呈後、園児たちは大喜びで遊び、木のやさしい手触りを感じていました。



御所へき地保育所

愛の募金

12月22日、山都町老人クラブ連合会蘇陽支部（下田澄雄支部長）から、今年も社会福祉協議会（甲斐利幸会長）へ「愛の募金」が贈呈されました。同支部が15年以上にわたって、竹筒や牛乳パックなどを加工した募金箱を各世帯に配布し、募金と呼びかけているもの。今年は274,376円が集まりました。



甲斐会長へ募金を贈呈する下田支部長（右）

馬見原小そば収穫

11月30日、馬見原小3年生11名が、馬見原東部老人クラブの協力のもと、そばの収穫を行いました。8月に自分たちで植え、老人クラブの方々の管理のもと立派に育ったそばの収穫です。乾燥したそばを廻り棒でたいすを実を落とします。それをふるいにかけたり、とうみにかけたりするなど、一連の作業を協力しながら行いました。収穫されたそばの実は、馬見原小で開催されるそばパーティーで使用される予定です。

山崎新一さんがしめ縄を寄贈



山崎さん（右）と寄贈されたしめ縄

目丸の山崎新一さんから、今年もしめ縄を寄贈していただきました。横一文字の力強いものや、いくつもの弧を描いた複雑なものなどさまざまデザインがあり、一つを作り上げるのに1日以上かかるものもあるそうです。近年、山崎さんは町内外からしめ縄づくりの指導をお願いされることが多くなったため、しめ縄の歴史などを事前に勉強してから、指導にあたるようになったと話してくれました。



寄付いただきました。

菟隆司さん（千滝）から福祉目的で使用して欲しいと、山都町へ寄付がありました。これを受けて町では、AED（自動体外式除細動器）6台、血圧測定器5台を導入し、中央公民館や清和総合支所などに設置しました。

ふれあい畜産まつり

11月6日に熊本県畜産農業協同組合主催による「第8回ふれあい畜産まつり」が熊本県家畜市場（大津町）にて開催されました。共進会部門において3名の方が入賞されました。

- 肉用種牛部門
 - 肉用種牛3部 黒毛和種若齢の部
 - 優秀賞 はるひら2号
 - 吉見泰治さん（高月）
 - 優秀賞 かつまる号
 - 吉田敬信さん（米生）
- 肉用種牛4部 黒毛和種壯齢の部
 - 優秀賞 はるこ号
 - 柿田公事さん（田小野）



菟隆司さん（左）の前で血圧測定器を使用する甲斐町長